

市民意見募集(パブリックコメント)結果

「第2期和歌山市人口ビジョン(案)」及び「第2期和歌山市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)」に対するご意見を募集した結果、13件のご意見をいただきましたので、次のとおり公表します。

■募集案件の概要

募集案件	「第2期和歌山市人口ビジョン(案)」及び「第2期和歌山市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)」
受付期間	令和元年12月27日～令和2年1月27日
ご意見の件数	1名・13件

■ご意見の概要と市の考え方

No	ご意見の概要	市の考え方
1	<p>安定した雇用を生み出すためには働く場所が必要です。過去5年間で和歌山市内への企業誘致の目標はどのくらい達成できたのか、今後5年間の創業件数(140件/年の目標値)を達成させるために、具体的にどのような取り組みをするのか等も記載すると良いのではないのでしょうか。県外に出ていった若者がUターンしたくても働く企業がないので、人口減少問題も税収減少問題も企業を増やすことでかなり解決できると思います。</p>	<p>市が目標としている企業立地による新規雇用者数(H27～R元年度の5年間)については、目標値を達成する見込みです。なお、H27～H30年度の実績は、「I-5 第1期総合戦略の成果と課題」のグラフに記載しております。R2年度以降の5年間においても、引き続き企業の新規立地や規模拡大を支援し、産業の振興と雇用機会の拡大を図ります。</p> <p>また、創業件数の目標を達成するための具体的な取組として、創業を希望される方、また創業されて間もない方に対し、創業支援セミナー、創業スクールを開催し、事業者の経営ノウハウの提供や知識習得などのソフト支援を行います。</p>
2	<p>「文化遺産を適切に保護・継承し」とあるが、「文化遺産を適正に保護・継承し」に変更するべきだ。「適正」は「適切で正しいこと」であるので、文化遺産を大切に守っていくためには、「適切」ではなく「適正」が必要だと思います。</p>	<p>文化遺産の保護・継承のあり方については、時代や状況に応じて、正しいとされる手段や考え方は変化しており、その時々に応じて最もふさわしいと考える手段を講じていくことが要請されていると考えております。そのような考えから、「適切」のままとさせていただきます。ご理解いただきま</p>

		すようお願いいたします。
3	子育て世帯への住居支援の政策を増やし、具体的な支援金額を記載してほしい。	<p>現在、三世代同居・近居促進事業等の子育て世帯への住居支援がありますが、これらの事業評価をしながら、今後の施策を進めてまいります。</p> <p>具体的な支援金額を含む事業内容については、事業の広報の際に周知してまいります。</p>
4	こども医療費助成の制度をさらに充実させ、そのための具体的な医療費助成金額を記載してほしい。	<p>こども医療費助成については、限られた財源の中で現制度を将来的に維持していくことが課題であると考えています。そのためには限られた財源を大切に使い、今後も安定的に制度を実施していかなければならないということをご理解していただくようお願いいたします。支援金額としては現制度における決算額になります。(平成 30 年度決算額約 11 億 2500 万円)</p>
5	子どもの歯科治療費の無償化など、新しい子育て支援策の充実してほしい。	<p>こども医療費助成につきましては、保険診療による医療費の一部負担金を助成しています。</p> <p>歯科治療費につきましても、医療保険の適用となるような治療を受けた場合は医療費の助成を受けることができますが、保険診療以外の治療は対象外となります。歯科における矯正治療や美容診療治療といった自費診療は、医療費助成の対象になりませんのでご理解願います。</p> <p>具体的な子育て支援策については、こども医療費の助成制度を将来的に維持していくことが課題であると考えていますので、ご理解していただくようお願いいたします。</p>
6	中古マンション等をリノベーションして安価な住宅を提供してほしい。	<p>住宅確保に関連する支援制度について、財源となる交付金等も見極めながら研究してまいります。</p>
7	子育て中の世帯には精神面・経済面の両方から支援する、など思い切った政策を出してほしい。	<p>子育てに関する相談支援体制の充実等の精神面からの支援や、児童手当をはじめとする様々な経済面の支援について、周知も含め充実してまいります。</p>

8	子どもたちがいきいきと育つためにも、温かい給食の提供、給食費無償化など、具体的な子育て支援策を充実してほしい。	より良い給食が子供達に提供できるように検討してまいります。なお、給食費の無償化については、現在考えておりません。
9	子どもたちがいきいきと育つためにも、具体的な子育て支援策を充実してほしい。	「和歌山市子ども・子育て支援事業計画」において、具体的な子育て支援策の充実を図ってまいります。
10	再開発でのマンション供給は、戸数限定で効果のある施策でなく、市内の空き家を増やすことにも繋がるのではないのでしょうか。	再開発は、市街地の土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図ることを目的としており、その中で民間による良質な住宅供給の促進を進めているものです。
11	市街地再開発事業の補助金を若者向けの安価な住宅の供給に充てればいいのではないかと思う。	今後の住宅施策を検討していく上でのご意見として承ります。
12	コンパクトシティ化を進めるならば、地域の高齢者が街中に出られるよう、バス路線を充実させるか、それが無理なら乗合タクシーを制度化してほしい。高齢者の免許返納にもつながるのでぜひ進めてほしい。	本市では、交通不便地域における地域住民の移動手段を確保するため、平成30年度より加太地区にて、最寄りの鉄道駅、バス停、スーパー等へと接続するデマンド型乗合タクシーの運行を開始しております。直接街中へ出るには、既存のバス路線と重複してしまうことから、今後も、地域の皆様と話をしながら、既存事業者に配慮しつつ、より多角的な連携や運行を検討していきます。
13	高齢者福祉について自助、共助は大事だが、やはり公助が大きな要となるのが安心につながるので、家庭や地域に押し付けることなく、行政が支援する事柄を具体的にはっきりと記載してほしい。	和歌山市では高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるために、住まい・医療・介護・予防・生活支援を必要に応じて適切に提供される「地域包括ケアシステム」の構築を目指しています。これは、市が地域の自主性を重視し、地域の特性に応じてその体制を作り上げていくものです。市が実施する具体的な事業については、「IV-2 具体的施策」に掲載しています。